



市特産物への理解を深める

市と県立掛川特別支援学校御前崎分校、道の駅「風のマルシェ御前崎」が連携してサツマイモを栽培する事業が6月10日、「風のマルシェ御前崎」で実施されました。同事業の目的は、地元で生産が盛んな農作物への理解を深めること。1年生の片山汐乃さん(上比木)は「みんなと協力しながら作業することができて楽しかった」と笑顔をのぞかせました。

◀サツマイモのつるを切り、つる返しをする生徒



多肉植物の寄せ植えを体験

白羽にある多肉ランド「Tony-Tony」^{トニー トニー}で6月13日、「多肉植物講座」が開催されました。同生涯学習講座の講師を務めたのは多肉ランドの川口奈々美さん。参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、ハウス内にある約200種多肉植物の中から数種類を選び寄せ植えを体験。アレンジの仕方や植え方、手入れの方法などを学びました。

◀多肉植物の寄せ植えに励む参加者



3密防いで料理講座を開催

学校法人マツイ学園で6月20日、生涯学習講座の「いつものおかずレシピ」が開催されました。講師は、松井ゆみ子校長と中山悦子先生の2人。参加者の坂本佳子さん(下朝比奈)は「講師が参加者1人1人をきちんと指導してくれた。今回習った料理を家でも作ってみたい」と話しました。次回は、9月12日に本格ピッツァとデリシャスサラダづくりを開催します。

◀コロナ対策として1人1つの調理台を使用する参加者



コロナ禍に負けず体力増進

第8回御前崎市ソフトバレーボール大会が6月28日、朝比奈地区センター体育館で実施されました。同大会には、20歳から66歳までの男女およそ90人が参加。16チームがトーナメント戦でしのぎを削りました。試合に出場した齊藤希さん(新野南)は「これからも新型コロナウイルスに負けないよう楽しく運動したい」と意気込みました。

◀大きな盛り上がりを見せたソフトバレーボール大会